

2020
6月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第190号-①【基準日 2020年5月29日】



🌸 社長メッセージ



経済活動再開とコロナとの共存



ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が依然として続いており、不安な日常をお過ごしのことと思います。

感染拡大が続くも経済活動再開

さて、先月も引き続き新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、6月2日時点で世界の感染者数は627万人、死亡者数は37万人を超えました。感染拡大の中心地は先進国から新興国にシフトしておりますが、一方で、感染増加がピークアウトしてきた米国や欧州各国ではロックダウンを徐々に解除して経済活動再開の動きも出てきました。

日本でも緊急事態宣言が5月25日に東京や北海道などでも解除されて、全国で経済活動再開へ向けて動き出しました。日本だけでなく欧米各国も新型コロナウイルスが収束したという状況には至っておりませんが、いつまでもロックダウンや緊急事態宣言で経済活動を止めていては経済や私達の生活が成り立たなくなってしまうので、経済活動再開は必要なことでしょう。

しかしながら、感染防止をしながら第2波、第3波を警戒しての経済活動の再開ですので、コロナ前の状態にすぐに戻ることは難しいでしょう。コロナが完全に収束するか、ワクチンや治療薬が出来てコロナを気にしなくてもよくなるまではコロナと共存しながら、日常を過ごしていく必要があります。その期間がどのくらいになるかは正確にはわかりませんが、ワクチンや治療薬の開発・普及を考えれば少なくとも1~2年くらいはかかると言われております。

コロナと共存していくウィズコロナ時代は、新しい日常生活、行動様式を受け入れていく必要があります。マスク着用や手洗いうがいをすることは容易にできますが、ソーシャルディスタンスをとる、大勢ではなく少人数で行動、できるだけ人と接触しないように、対面ではなく横並びで、食事中や交通機関では会話を控えるなど、今まで自然に行動していた人間的な部分を変えていかなければならないので慣れるのに時間がかかりそうです。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

経済活動再開期待と過剰流動性によりマーケットは上昇

先月の世界のマーケットは、経済活動再開への期待と金融緩和による過剰流動性によって株価は上昇した一か月でした。しかしながら、足元の経済指標や企業業績は非常に悪いものが出てきています。GDPや失業率、景況感では過去最大の落ち込みを示す結果が出ていたり、航空会社などで既に経営破綻した企業も出てきています。



このように、世界の实体经济はどん底の状態ですが、ロックダウン解除による経済活動再開でこれ以上悪くならない、これから良くなっていくという期待感が少し楽観的とも思えるほどです。各国政府によるかつてない規模の金融緩和と財政出動による下支えが株価と实体经济の乖離が広がっている要因だと考えられます。

半年先、1年先の回復を株価は先取りしているとも言えますが、感染第2波が来て再びロックダウン、緊急事態宣言となれば大きく調整して二番底をつける可能性も少なくないでしょう。過度に将来に対して悲観的になる必要はありませんが、株式市場と实体经济の乖離が足元で広がっているのは、リスク要因と認識しておく必要があると考えます。

新型コロナウイルスの感染拡大が世界各地に広がり始めて3ヶ月以上が経ちましたが、当初のパニック相場は落ち着き、マーケットは回復してきました。今回の新型コロナウイルスのパンデミックは、リーマンショックを超える戦後最大の危機と言われておりますが、毎日コロナ関連のニュースを見ていると、最初は大変な驚きや恐怖を感じましたが、不思議なことに最近では慣れてきたのか世界の感染者数や死亡者数のニュースを聞いてもそれほど驚かなくなってきました。緊急事態宣言が解除されて経済活動は再開し、マーケットでは实体经济の悪化の底が見えてあとは良くなっていく期待感で上昇していますが、私達の生活への影響がボディブローのように出てくるのはむしろこれからだと思います。倒産、リストラによる雇用悪化、収入減少から景気はV字回復とはいわずにしばらく低迷するでしょう。

コロナと共存していく間は、今までの「7割経済」になるとも言われており、売上が減少する中で、企業はコストダウンを徹底し、個人は生活防衛をしながら乗り切っていく必要があるでしょう。

資産運用で成功する秘訣＝継続は力なり

このような中において、長期で資産運用をしていく上で大切なことは、先行きが不透明な時でも、目標（ゴール）を見失わずにコツコツと継続していくことです。何のために資産運用しているのか、どのように資産運用するのか、自分の資産運用の目的と運用方針をもう一度再確認することが大切になります。そして、目標に向かって世の中が良い時も悪い時も忍耐強く継続することが資産運用で成功するために必要なことです。変化のスピードが速い現代社会では、常に先行きは不透明であり、将来が見通せることの方が稀です。むしろ先行きが不透明だからこそ、将来のために長期・分散・積立投資で資産運用をする必要があるのです。

例えば、40代の方で20～30年後の将来のために資産形成しているのであれば、新型コロナウイルスの影響があったとしても、積立投資で老後資産形成する目標は変わらないと思います。こういう時期でも短期的な相場動向に一喜一憂して惑わされずに継続していくことが資産運用で成功する秘訣です。まさに「継続は力なり」です。



質の高い成長企業を厳選して国際分散投資で資産成長を目指す

コロナと共存していくウィズコロナ時代、そしてコロナが収束したアフターコロナ時代には、コロナ前とは求められる企業やビジネス、サービス、競争環境が変わり、私たちの日常生活の行動様式などにも大きな変化があるかもしれません。

ありがとうファンドが投資先ファンドを通じて厳選投資している企業には、景気変動に左右されずに持続的成長を成し遂げていける長期的なビジネスモデルがあり、財務内容が優れているクオリティの高いテクノロジーやヘルスケア等のグロース銘柄が少なくありません。それらの企業は新型コロナウイルス感染拡大による景気悪化の影響をあまり受けずに済んでおり、好調な企業業績を背景に良好なパフォーマンスを残しています。



世界経済は、IMFの見通しでは新型コロナウイルスの影響で今年度マイナス成長は避けられませんが、それでも中長期目線で見れば、世界経済は長期的な世界の人口増加とそれに伴う生産・消費の拡大を成長ドライバーに今後も成長していくと考えられています。

ありがとうファンドの運用方針は変わらず、引き続き短期的な相場変動に惑わされることなく、長期投資で世界経済及び企業利益の成長の恩恵を長期で享受できるように、幅広い国や地域の、景気変動に左右されず持続的に成長していける競争力のある長期的なビジネスモデルに裏付けられた質の高い企業に厳選投資しているファンドに国際分散投資をするとともに、リスクオフ局面、金利低下環境で相対的に価値向上が期待できる金(ゴールド)にも投資することでリスクを抑えながら安定したパフォーマンスの提供を目指してこれからも運用を行って参ります。

新型コロナウイルスとしばらく共存していくウィズコロナ時代を皆さまと乗り越えていけるように役職員一同、精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



🌸 積立投資のススメ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	18,001円	+2.90%
3年	18,180円	+1.89%
5年	17,015円	+8.86%
10年	12,648円	+46.45%
初回(2004年10月)から	11,610円	+59.54%

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、10年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。続けていくほど利益がでているのわかるかと思います。

2020年5月29日現在(基準価額:18,523円)

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

🌸 セミナーのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況などを鑑みて、お客さまの安全を最優先して当面の間、セミナーの開催を中止させていただきます。何卒ご理解・ご了承賜りますようお願い申し上げます。

🌸 お電話フリーコール受付時間変更のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、弊社では役職員の時差通勤、在宅勤務を取り入れております。

つきましては、2020年4月6日(月)よりお電話フリーコール受付時間を10:00~16:00(土日祝日、年末年始を除く)までに当面の間変更させていただきます。尚、電話受付時間以外については変更なく通常通り営業いたします。また、インターネットからの資料請求・お問合せ、マイページサービスについては24時間365日ご利用いただけます。何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

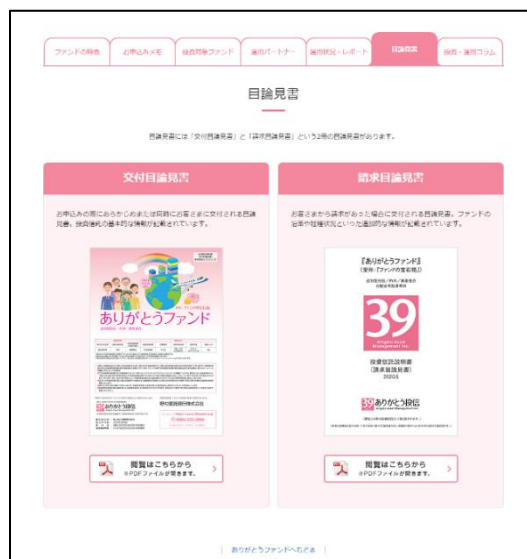
【変更前】8:30~17:30(土日祝日、年末年始を除く)
↓
【変更後】10:00~16:00(土日祝日、年末年始を除く)

🌸 目論見書改訂のお知らせ

『ありがとうファンド』の半期報告書及び訂正届出書を5月29日付で関東財務局に提出したことに伴い、目論見書の記載内容を変更いたしました。目論見書の交付をご希望のお客さまには、マイページ上での交付、または郵送させていただきますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

尚、今後目論見書の交付が不要なお客さまは、弊社カスタマーサービス部までお問い合わせください。(※目論見書の重要な変更時にはすべてのお客さまにお送りいたします。)

また、ホームページ上にも目論見書を公開しております。
こちら(<https://www.39asset.co.jp/39fund/prospectus/>)からご覧ください。



毎月定期購入サービスのスケジュール

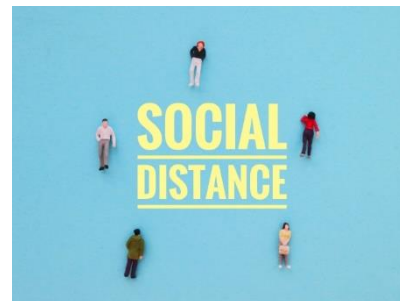
今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2020年 6月分	受付終了	受付終了	6月8日(月)	6月16日(火)	6月18日(木)
2020年 7月分	受付終了	6月24日(水)	7月6日(月)	7月14日(火)	7月16日(木)
2020年 8月分	7月3日(金)	7月27日(月)	8月6日(木)	8月17日(月)	8月19日(水)
2020年 9月分	8月5日(水)	8月26日(水)	9月7日(月)	9月15日(火)	9月17日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

6月	1日(月)	聖霊降臨祭	ルクセンブルグの銀行休業日
	23日(火)	建国記念日	ルクセンブルグの銀行休業日
7月	3日(金)	独立記念日	ニューヨーク証券取引所休業日
8月	-	-	-



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.60%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

*リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区千代田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。